

ご意見いただきたい内容:効果的な普及啓発方法について

1. 普及啓発イベント

- ・府民を対象とし、集客施設においてイベントを実施。
- ・イオン株式会社との包括連携協定に基づく公民連携の取組みとして、イオンモールにて実施。

時期	会場	内容
令和2年2月9日(日) 午前10時から午後4時まで	イオンモール大日(守口市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドベル演奏会 ・もずやんととの撮影会 ・相談ブース ・ミニクイズ ・リーフレット配布 ・工作コーナー
令和3年7月10日(土) 午後1時から午後4時まで	イオンモール北花田(堺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示 ・事業所の作品展示 ・啓発グッズ(クリアファイル)・リーフレット配布 ・ミニクイズ ・相談ブース
令和4年6月4日(土) 午前10時から午後4時まで	イオンモール日根野(泉佐野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやんととの撮影会 ・相談ブース ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ)配布
令和5年6月18日(日) 午前10時から午後4時まで	イオンモール茨木(茨木市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやん・ミyakミyakとの撮影会 ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ、クリアファイル)配布 ・相談ブース ・万博ブース ・屋台(輪投げ、お菓子掴み)
令和6年6月8日(土) 午前10時から午後4時まで	イオンモール鶴見緑地 (大阪市鶴見区)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやん・ミyakミyakとの撮影会 ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ、クリアファイル、付箋)配布 ・相談ブース ・万博ブース ・屋台(輪投げ、お菓子掴み)
令和7年6月14日(土)予定 午前10時から午後3時まで	イオンモール四條畷(四條畷市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやん・ミyakミyakとの撮影会 ・ミニ講義・脳トレ体験 ・脳を鍛えるゲームコーナー ・啓発グッズ(うちわ、ティッシュ、クリアファイル)配布 ・相談ブース ・万博ブース ・啓発動画上映



2. 普及啓発用ツール

- ・普及啓発を行うため、府民や支援者等が、いつでも気軽に知識を習得することができるような普及啓発用ツールの作成・公開に向け、令和6年8月及び令和7年1月の計2回検討会を開催。
- ・構成員から、高次脳機能障がいのある方の実態に基づいたものも踏まえ、様々な意見をいただきながら、令和7年3月に、③と④の2本の動画を公開。動画制作にあたっては、しぶやちあき氏からイラスト提供。
- ・作成する動画のテーマは下記のとおり。
- ・令和7年度は⑤⑥について、構成員の意見を聞きながら制作予定。
- ・あわせて、市町村の待合スペース等で放映いただくためのショート動画を作成し、市町村に照会の上、放映を依頼予定。

作成予定年度	タイトル	内容
令和5年度	①事故や脳の病気のアともしかすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
令和5年度	②診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や流れ、他障がいとの共通点や違い
令和6年度	③家庭内でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアともしかすると～	症状、対応方法、当事者・家族の会紹介
令和6年度	④買い物先・役所・銀行でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアともしかすると～	症状、対応方法、福祉サービス紹介
令和7年度	⑤職場でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアともしかすると～	症状、対応方法、就労支援
令和7年度	⑥学校でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアともしかすると～	症状、対応方法、合理的配慮
令和8年度	⑦当事者・家族からのメッセージ	今後検討

【参考】

令和5年度①
(R5.12公開)



令和5年度②
(R5.12公開)



3. 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会

- ・本講習会は、一般社団法人 日本損害保険協会の助成を受けて実施。
講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換の場を提供することが目的。
また、医療・福祉などの関連専門職、当事者・家族などを中心に構成する「リハビリテーション講習会実行委員会」を設置し、講習会の企画・運営を行うこととなっており、大阪府も普及啓発の一環として協力。
- ・令和6年度実施の講習会については下記のとおり。
タイトル : 第5回大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会
開催方法 : 堺市立健康福祉プラザ大研修室での対面開催 及び YouTubeでのオンデマンド配信
開催日時 : 令和6年11月23日(土・祝)13:30~16:00
※録画・編集したものを令和6年12月13日(金)~令和7年1月9日(木) YouTube限定公開
内容 : ①高次脳機能障がいに関する基礎講座
②当事者と支援者による体験談
参加者 : 会場44名、web受講219名 計263名

4. 普及啓発用ポスター・グッズ等

- ・令和2年度:クリアファイル 令和3年度:うちわ 令和4年度:ポスター 令和5年度:付箋及びクリアファイル
- ・令和6年度は、うちわとポケットティッシュを作成。(うちわについてはデザインをリニューアル)
デザインについては参考資料5のとおり。
来年度以降、普及啓発イベントや研修会等での配布とあわせて、市町村窓口での配架についても市町村に照会の上、配付予定。

5. 人材養成

- ・市町村担当職員研修と医療機関等職員研修については、例年通りオンデマンド配信およびWEB開催にて実施。
- ・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、加算要件となる高次脳機能障がい支援者養成研修を令和6年7月と12月に2回実施。来年度以降は受講定員を増やし、研修を実施予定。

		研修名	内容	日時・方法	参加者数	(参考) R5
研修	対象者別	市町村担当職員研修	障がい特性を踏まえ、個別性の高いケースに応じて、どのような福祉サービスで地域生活を支えるかや市町村内での他部署との連携の必要性等についての理解	令和6年7月18日(木)～8月8日(木) オンデマンド配信	28名	75名
		医療機関等職員研修	医療職に対し、高次脳機能障がいの支援に必要な受傷時の画像や経過などの様々な情報の提供に関する重要性や、医療と福祉機関でのリハビリテーションの違いや連携についての知識を習得	令和7年2月9日(日) Web開催	50名	76名
		高次脳機能障がい支援者養成研修	高次脳機能障がい支援者に対し、高次脳機能障がいについての知識を得ることや障がい特性を理解することで、高次脳機能障がいの障がい特性に応じた支援を実施するための知識を習得 (令和6年度に限り、令和7年度以降の大阪府高次脳機能障がい支援者養成研修の講師等として協力いただく支援者の養成を目的として実施)	<基礎研修> ・講義:令和6年7月2日(火)～8日(月) ・演習:令和6年7月12日(金) <実践研修> ・講義:令和6年7月16日(火)～22日(月) ・演習:令和6年7月30日(火) ※講義はいずれもオンデマンド配信 <基礎研修> ・講義:令和6年11月18日(月)～25日(月) ・演習:令和6年12月2日(月)/9日(月)のいずれか <実践研修> ・講義:令和6年12月10日(火)～17日(火) ・演習:令和6年12月23日(月)/24日(火)のいずれか ※講義はいずれもオンデマンド配信	第1回 30名 第2回 66名	計 174名 地域支援者養成研修 58名 相談支援従事者研修 60名

市町村担当職員研修の講義内容

講義①「高次脳機能障がいのある方が窓口に来られた際の対応の工夫」

講師:大阪急性期・総合医療センター 臨床心理室 主任 岡部 伸太郎氏

講義②「大阪府における失語症者への意思疎通支援について」

講師:一般社団法人大阪府言語聴覚士会 失語症意思疎通支援実行委員会

講義③「制度利用」

講師:国立障害者リハビリテーションセンター(高次脳機能障害支援者養成研修パッケージより)

講義④「大阪府における取り組みと高次脳機能障がい支援拠点について」

講師:大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課職員

障がい者医療・リハビリテーションセンター職員

医療機関等職員研修の講義内容

講義①「高次脳機能障がいについて」

講師:大阪府障がい者自立相談支援センター 所長

講義②「高次脳機能障がいのある方が地域で安心して暮らせるために」

講師:大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課 職員

講義③「高次脳機能障がいの診断と診断書類作成のポイント」

講師:なやクリニック 副院長(医師) 納谷 敦夫氏

高次脳機能障がい支援者養成研修の講義内容

<基礎研修> (高次脳機能障害支援者養成研修パッケージより)

- 講義①「開会あいさつ・高次脳機能障がい支援者養成研修(基礎研修・実践研修)とは」
- 講義②「高次脳機能障がいとは」
- 講義③「高次脳機能障がいの診断・評価」
- 講義④「病院で行うリハビリテーション」
- 講義⑤「失語症とコミュニケーション支援」
- 講義⑥「制度利用」
- 講義⑦「相談支援」
- 講義⑧「生活訓練」
- 講義⑨「復職・就労移行支援」
- 講義⑩「生活と支援の実際」

<実践研修> (高次脳機能障害支援者養成研修パッケージより)

- 講義①「障がい特性に応じた支援 地域の支援体制」
- 講義②「認知症・発達障がいとの共通点と相違点①」
- 講義③「認知症・発達障がいとの共通点と相違点②」
- 講義④「小児期における支援」
- 講義⑤「長期経過とフォローアップ」
- 講義⑥「多職種連携・地域連携 チームアプローチの重要性」
- 講義⑦「多職種連携・地域連携 家族(きょうだい)支援・当事者家族会の活動」
- 講義⑧「コミュニケーション支援」
- 講義⑨「地域支援の実際 支援の実践的な枠組みと記録」
- 講義⑩「自動車運転再開支援」

高次脳機能障がい支援者養成研修の演習内容

<基礎研修>

演習①「障がい特性の理解 診断・評価体験」

講師:大阪急性期・総合医療センター 臨床心理室 主任 岡部 伸太郎氏

演習②「障がい特性に応じた支援」

講師:大阪府立障がい者自立センター職員

演習③「生活訓練の実際」

講師:大阪府立障がい者自立センター職員

演習④「復職・就労移行支援」

講師:特定非営利活動法人クロスジョブ クロスジョブ梅田 管理者 家門 匡吾氏

<実践研修>

演習①「障がい特性の理解と対応方法」

講師:社会福祉法人 堺市社会福祉事業団 堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
高次脳機能障がい支援コーディネーター 別府 知代氏

演習②「環境調整による支援と記録に基づく支援の評価」

講師:社会福祉法人 堺市社会福祉事業団 堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
高次脳機能障がい支援コーディネーター 西脇 和美氏